

**R** (リデュース) Reduce

**特集2** **3R** ってなあに?

10月は3R推進月間です

**R** (リユース) Reuse

**R** (リサイクル) Recycle

皆さんは、「3R」という言葉を耳にしたことはありませんか？聞いたことはあるけれど、その意味を詳しく知らないという人も多いのではないかと思います。そこで今回は、この「3R」について勉強していきます。

**3** Rとは、REDUCE（リデュース）、REUSE（リユース）、RECYCLE（リサイクル）の頭文字である3つの「R」のことを言います。

まずリデュースとは、「ごみを出さない」ということです。3つのRの中で最も効果的で重要なのがこのリデュースです。次にリユースとは、「もつ一度使う、繰り返し使う」という活動です。そしてリサイクルとは、「使用が終わったものを、もう一度原料に戻して再生利用する」とことです。

3Rは、ごみを減らすための効果的な手段です。私たちは、普段からこの3Rを心がけることで、家庭から出るごみの量を減らすことができます。

## 平

成17年度に幸田町から出されたごみの総量（7ページ表参照）は、1万240トンで過去最高となっています。その中で、家庭系のごみが8割以上を占めています。つまり、家庭から出るごみの量を減らすことは、町全体のごみの減量にもつながるのです。

## で

は、3Rを心がけるには日常生活でどのようなことに気をつければよいのでしょうか。具体的には、次のことに気をつけましょう。

### REDUCE （発生抑制）

日常生活でごみを減らすことは案外難しいものですが、ごみになるものを買わないことで、ごみは確実に減らせます。ごみ減量化の第一歩はごみになるものを断ることです。

#### 具体的には・・・

- ・ 買い物へはマイバックを持参し、レジ袋はできるだけ断る
- ・ 食べ物は残さないよう、買い物や料理を計画的に行う
- ・ 使い捨ての容器に入った食品・何重にも包装してあるもの・家で使うものへの包装は断る

REUSE  
(再使用)

ものを長く使うことも、ごみを減らすことにつながります。使わなくなったものを捨てる前に、もう一度修理したり、他の人に譲り使ってもらうなど、もう一度活かす道を考えましょう。

具体的には・・・

- ・電気製品や家具、おもちゃなどは大事に使い、壊れたら修理して使う
- ・繰り返し使えるリターナブル瓶の商品を買うようにする
- ・再生紙などのリサイクル商品を買うようにする

- ・古くなった洋服を作り直したり、雑巾に利用したりする
- ・プラスチック容器（詰め替え式のシャンプー容器など）は何度も繰り返し使う

RECYCLE  
(再生利用)

製品として再利用できなくても、製品の原料として活用できるものはごみではありません。ごみにするのでも、資源にするのも私達の心掛け次第です。

具体的には・・・

・資源となるごみの分別を徹底して、資源化しやすいよう、きちんとごみ出す

・スーパーなどの店頭回収（牛乳パック、食品トレーなど）に資源物を持って行く



こ

のように、3R活動には色々な取り組みがありますが、一番大切なことは、一人ひとりが自分の問題という意識を持って、できることから始めることです。

私達は残念ながら、ごみをまったく出さずに生活することは出来ません。しかし、限りある資源を守るためには、これらを出る限り再利用して資源として循環させ、有効に使う必要があります。地球の環境を守るのは私達のちょっとした心掛の積み重ねです。

皆さんも少しずつ、自分のできることから始めてみてはいかがでしょうか。

【表】幸田町ごみ総排出量の推移

単位：t

	区分	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
家庭系	燃やすごみ	4,827	4,928	4,445	4,421
	資源物	764	844	1,183	1,243
	資源回収	2,031	2,117	2,114	2,124
	埋立ごみ	85	86	82	65
	粗大ごみ	576	635	658	620
	合計	8,283	8,610	8,482	8,473
事業系		1,269	1,536	1,623	1,768
総合計		9,552	10,146	10,105	10,241

